

平成 27 年 9 月 1 日
日本工学院八王子専門学校

学校関係者評価結果

学校関係者評価委員会会議の中で本校が行った平成 26 年度自己点検の評価について、すべての項目において了承を得た。評価委員会の主な発言は次のとおりである。

(2) 【学校運営】

- ・ マイナンバー制度の導入で今後もコンプライアンス体制が重要になってくる。今後の動向の把握が必要になってくるのではないかな。地域社会と情報を共有した方がよい。

(3) 【教育活動】

- ・ 高校でも 18 歳人口減少の影響で進路や就職に特化した教育になってきてしまい、リベラル教育をしっかりとやっているところが少なくなっている。
- ・ 専門学校でリベラルアーツを求めるのは難しいが、ボランティアなどを学校教育の中にいれつつ教育をしてみたらどうか？
- ・ 企業側と学校側の相互研修があると、最新情報の取得や業種のマッチングなど就職率向上につながるのではないかな。教員インターンシップなどを実施してみてはどうか
- ・ 海外研修など、インターンシップについての教育の強化が必要ではないかな
- ・ 英語だけではなく、中国語など語学力が必要になってきている。チャレンジプログラムで実施してみたらどうか。
- ・ 留学を希望する学生の支援体制を強化すれば、語学力の面で就職する際に有利になるのではないかな。

(4) 【学修成果】

- ・ コンプライアンス等で個人情報の制限があると思うが、卒業生へのアクセスとして PULL 型の取組をしてはどうか？
- ・ 卒業生の特別講師の依頼や求人の呼びかけなどは、企業のニーズや業界情報および求人開拓に非常に有効であるので、卒業生との繋がりが強くなる取り組みをしてみたらどうか。
- ・ 退学率の防止として、クリエイター系は作ることと楽しむことの区別がつかないことが多い部分があるので、入学前にその説明をしてみたらどうか
- ・ 校友会として 30 周年を迎えるにあたり、色々な体制づくりを考えている。今後も学校側と協力して、地区同窓会など発展させ情報を集約していきたい。

(5) 【学生支援】

- ・ 保護者に中小企業の良さを説明してもらいたい。八王子市では保護者のための説明会なども実施している。また、就職担当者を対象に見学会も行っているので参加してみたらどうか。
- ・ 大学病院など病院によっては、看護師になる人の保護者を対象に説明会を実施し、医療の現場の理解や心のケアをお願いしている所もある。参考にしてみよう。

(6) 【教育環境】

- ・ 避難訓練の実施や管理マニュアルなど、備蓄品なども整備されていてとても良い。
- ・ 避難訓練の際に学生に救急搬送や救命方法などに参加させてみてはどうか。社会の場でも役立ち、学生のやる気の向上になるのではないかな。
- ・ 中小企業には新卒者の就職率が減っている傾向にあるので、海外からの採用が増えつつある。そういった状況で、英会話ができ専門用語がわかる人が必要になってきている。
- ・ 外国からの留学生も増えているので人材交流のプログラムがあればよいのではないかな。

以上